

## 猪苓 POLYPORUS

### (基原)

チヨレイマイタケ *Polyporus umbellatus* Fries の菌核。(サルノコシカケ科 *Polyporaceae*)

### (性状)

本品は不整の塊状を呈し、通例、長さ5～15cmである。外面は黒褐色～灰褐色を呈し、多数のくぼみとあらい皺がある。折りやすく、折面はやや軟らかくコルク様で、ほぼ白色～淡褐色を呈し、内部には白色の斑模様がある。質は軽い。本品はにおい及び味がない。

1)

(原植物) 日本産のものはハンノキ、ブナ、ミズナラなどのブナ類、イタヤカエデなどのカエデ科の根、中国産はフウノキ(楓樹、*Liquidambar*属)、カラコギカエデ、カシワ、クヌギ、ムクゲ属、ガバノキ属の植物の根に付着して形成される。菌核は形が不規則で表面は凹凸が著しく、やや扁平、ときにはショウガの根茎に似た形であり、表面は黒色～黒褐色、内部は白色～淡褐色で、比較的質は軽く、充実する。子実体は地下の菌核から生じ、菌柄は円柱状で白く、基部が相連なり上部が多分岐して、枝の先端毎に傘を開く、傘は円形で径1～4mm、厚さ2～5mm、上面は黄白色～淡黄白色でほとんど平滑か細かい鱗状にささくれ、下面中央部に菌柄が付く。秋亜高山帯の広葉樹林内で子実体を見ることができる。<sup>1)7A)</sup>

### (産地)

日本では北海道、福井、山形、秋田などから産出する。ヨーロッパ、北アメリカにも分布する。中国では西部地域を除き全域に生じる。西北、華河北地方、主として陝西秦嶺地区、山西、河北張家口、承德から年間約100t程輸入している。<sup>1)13)7B)</sup>

東医研薬局では陝西産のものを使用。

### (選品)

\* 漢産にても和産にても可なり。要は肉厚きものを上となす。肉厚くして皺少なきものな

らば更によし、之れ本品は黒き皮を去りて用ふるが為なり。之れ皮を剥ぐは甚だ厄介な仕事なればなり。<sup>8)</sup>→古方では去皮

\*日本の市場では、内面が白くて、なるべく大きいものが良く、肉の赤黒いものは良くないとされる。<sup>13)</sup>

\*日本産はくびれが多くやや軽質で、中国産は凹凸が少なく硬質で、韓国産は日本産に似ている。中国陝西、雲南省産が品質最高である。<sup>14)</sup>

\*品質については、その薬能（利水あるいは尿道泄利）に関係する成分がまだ究明されていないので、分析評価は無理である。古来の選品によれば、外面が黒色で内部が白色を呈し充実して重いものが良品とされている。・・・現在わが国で主として消費されている中国産猪苓の品質は、重質ということでは良品であるが、外面及び内部の色からは必ずしも良品とは云いがたい。国産品は現在市場にほとんど見かけないが、外面は黒色、内部は白色を呈する点はいが、一般に軽質といわれている。このように猪苓の品質評価に古来の選品をも適用できないので、あらためて現代的な臨床経験を積んでどんな猪苓が良品かを決める必要がある。<sup>15)</sup>

#### (成分)

ergosterol 配糖体、ergosta-4,6,8,(14),22-tetraen-3-one (360nm, 青色蛍光)<sup>16)</sup>

$\alpha$ -hydroxyteracosanoic acid {脂肪酸}

ビオチン (43ng/g)<sup>17)</sup>

水溶性グルカン GU-2, GU-3, GU-4

{グルコースの $\beta$ -(1,3)、 $\beta$ -(1,6)あるいは $\alpha$ -(1,4)結合を有する分岐構造を持つ。エンド(1,6)- $\beta$ -D-グルカナーゼを作用させて得られたオリゴマーはゲンチオビオース、ゲンチトリオース等。}<sup>18)</sup>

アルカリ可溶性グルカン

{水溶性グルカンを除いて、塩化亜鉛処理後、尿素と水酸化ナトリウムで抽出する}

#### (現代薬理)

##### ①利尿作用

\*水性エキスをマウス或いはラットに経口又は皮下投与しても尿量増加は認められないが、

ウサギ経口投与、或いはイヌ静脈内又は筋肉内投与で利尿作用が認められるという報告がある。このイヌの実験では、 $\text{Na}^+$ 、 $\text{K}^+$ 、 $\text{Cl}^-$  の排泄も増加するという。<sup>19)</sup>

- \*ラットで、体重あたり3%の水を経口負荷した条件下では猪苓煎液は利尿作用を示さない。<sup>20)</sup>
- \*ラットで、10ml/100gの大量水負荷した条件下では、猪苓煎液は2時間後に尿量を増加させるが、3時間後には逆に減少する。これは負荷した水が猪苓により短時間に排泄されてしまうためと考えられる。<sup>21)</sup>
- \*1000ccの水を負荷(飲用)させた健康人5例について利尿生薬煎剤の利尿実験を行い、猪苓煎剤(生薬3g)は茯苓より平均尿排泄量では強力な利尿作用を有するが、被験者5例の内容としては、1例に著明な利尿作用が、もう1例に軽度の尿量増加が見られただけで、ほかの3例には同作用は認められず、猪苓はさほど強力な利尿作用を有するとは認めがたい。しかし、著明な利尿作用を示した被験者は通常より良く湯茶を飲み、排尿頻き傾向があるので、”水滞”の状態にある。<sup>22)</sup>
- \*ラットにアルコール抽出液を内服させると尿量の増加が認められるが、副腎を摘出したラットでは、猪苓煎剤と deoxycorticosterone の併用で、尿量及び尿中塩化物の排泄は影響を受けない。猪苓のカリウム含量はそれほど多くなく(30mg%)、血液を希釈するとも考えられないので、その利尿作用は、腎小管に対する電解質と水の再吸収を抑制したものと考えられる。<sup>23)</sup>
- \*ラットに猪苓湯、五苓散を長期間にわたり経口投与し、西洋薬に劣らぬ利尿作用を示し、その際尿中 $\text{Na}^+$ 量は利尿係数として尿量と相関し $\text{Cl}^-$ も $\text{K}^+$ も並行して変動するが、他の電解質も含め、電解質に対する漢方利尿剤の作用は西洋利尿薬ほど強い作用を有さず、 $\text{Na}^+$ の腎臓における能動輸送を抑制するとし、さらに猪苓湯の利尿作用に強心配糖体作用があると推定される。<sup>24)</sup>

## ②抗腫瘍作用

- \*水溶性グルカンGU-2, GU-3, GU-4には抗腫瘍活性が認められており、マウスに移植したザルコーマ180を縮退する。筋肉内注射、静脈内注射、経口投与いずれの方法でも、腫瘍移植の前及び後のいずれの投与でも認められる。<sup>25)</sup>
- \*アルカリ可溶性グルカンの多くにも抗腫瘍活性がある。<sup>26)</sup>

### ③抗菌作用

\*アルコールエキスの黄色ブドウ球菌及び大腸菌に対する抗菌作用<sup>23)</sup>

(古典的薬効)

\*中医学 性：平 味：甘 帰経：腎、膀胱系。熱を去る

利水滲湿。治小便不利、水腫、淋しよく、帯下。

\* (中品) がい瘡を主る。毒蠱症、不祥を解し、水道を利す。久しく服用すれば、身を軽んじ、老いに耐える。<sup>13)</sup>

\*本草綱目

甄権：傷寒、温疫の大熱を解し、汗を発し、腫脹、満腹急痛に主効ある。

元素：渴を治し、湿をのぞき、心中の懊悩を去る。

好古：膀胱を瀉す。

李時珍：そう理を開き、淋腫、脚氣、白濁、帯下、妊娠子淋、体腫、小便不利を治す。

\* 渴を止めども小便を利するの効有り、大概内に熱有るものを治す。小便利せずして嘔吐有るものにも宜し。新在方薬の

熱あり汗出で、のど燥きて大いに水を飲み、小便の不利する者、小便の回数多くちよっぴりしか出でずその都度大いに痛む者、下腹に熱ありて小便不利の者には本方の証多し。然ものど乾きて水を飲みたがる者と云う事が肝腎の所なり。<sup>8)</sup>

\* 渴して小便不利を主治す。<sup>10)</sup>

\* 味淡平、湿気を滲み、水道を利し、表皮を分解し、がい瘡を治す。<sup>27)</sup>

\* 膀胱系の薬だ、即ち膀胱腎臓等利尿剤で脹満や淋病にも賞用す。而して亦能く発汗もする、依して利尿剤としてまことに結構な薬だ。白朮、茯苓などとも混和して腹内の水腫に賞用する。<sup>28)</sup>

\* 利水、滲湿、清熱。利水作用は著明で、尿細管の再吸収を抑制すると考えられる。脱水症状を起こすことがあるのに注意する。<sup>29)</sup>

\* 浮上した表位の水を膀胱に降下する。去皮とあるは桂枝と同じく薬気が表位に停滞するをおそれるからだ。猪(ぶた)の音は諸(しよ)、豕(し)のことで水のあるところに停止する性がある。易経に坎為豕とあり坎卦の象で走下する水獣の象。犬は雪を喜び馬は風を喜び豕(ぶた)は雨を喜ぶ。天より雨降るとき豕(ぶた)は進んで水を渉る。軽

質で浮上しやすく表位に停滞した水を裏位腎の膀胱に降下するの義。苓とは零落のこと、苓は零（おちる）。<sup>33)</sup>

(茯苓との鑑別)

- \* 猪苓は茯苓に似ているが、滋潤の能がなく、ただ渴を止め水道を利する、而して利水によって膀胱の熱を疏する効がある。<sup>30)</sup>
- \* 一種の利尿薬にして、その作用は茯苓、沢瀉に類似するも、その異なるところは本薬は解熱止渴作用強きも茯苓におけるが如く心悸亢進、筋肉痙攣等を治するの能がなく、又沢瀉におけるが如く冒眩を治す能わずして彼等に比すれば解熱利尿作用一層有力なり、是れ本薬の一般に実証に用いらるる所以なり。<sup>31)</sup>
- \* 性質が茯苓よりも涼性であるから熱象をともなう水腫に適している。補益性がなく、服用しすぎると利尿過多による口渴・煩燥などの脱水症状を引き起こすので、ふだん尿量の多いものは服用すべきではない。また、利尿する必要はあるが過度になつては困るときには、茯苓を用い、猪苓は使用しない。<sup>9)</sup>

(沢瀉との鑑別)

- \* 沢瀉と其の効を同じくしているが上下の別がある。・猪苓散は嘔吐而して病膈上にあり、後水を思ふ者を治す。猪苓は能く膈上にあるの水飲を推降するが故に水を思ふの証は自ずから癒る。 水村長久

沢瀉茯苓湯の証は猪苓散の証と相似ている。而して方中猪苓を用いていないのは、この証はただ胃反で、吐而渴のみであつて、飲膈上にある者ではない。故に猪苓を用いると利水に過ぎるからである。

沢瀉は乾燥を滋潤するの効が猪苓より優れている。<sup>30)</sup>

\* (利尿剤の鑑別)

茯苓	悸、肉潤筋てき	各証
朮	身疼	陰証
猪苓	解熱、止渴、利尿	陽実
沢瀉	冒眩	陽虚 <sup>32)</sup>

(参考文献)

- 1) 第13改正日本薬局方解説書 D-723

- 7A) 難波恒雄 漢方製剤の知識 IX,171,薬事新報社・ツムラ
- 7B) 油田正樹 漢方製剤の知識 II,1,薬事新報社・ツムラ
- 8) 新古方薬囊 257
- 9) 漢薬の臨床応用 139
- 10) 重校薬徴
- 13) 意积神農本草経 270
- 14) 和漢薬物学 99
- 15) 西本和光、現代東洋医学 4(2),56(1983)
- 16) 阿部健一、日本生薬学会28年会講演要旨集 57(1981)
- 17) 渡辺武ら、薬誌 74,157(1954)
- 18) 宮崎利夫、現代東洋医学 4(2),61(1983)
- 19) 鶴見介登ら、岐阜医紀 11, 129(1963)、山口一香：朝鮮医学会雑誌 86,173(1928)、王利文ら：葯学学報 11,815(1964)
- 20) 萩庭丈寿ら、生薬 17,6(1963)
- 21) 油田正樹ら、秘尿紀要 27,677(1981)
- 22) 内炭精一ら、日本東洋医学雑誌 3,(2),1(1958)
- 23) 難波恒雄、漢方医学 3,(5),1(1979)
- 24) 原中瑠璃子ら、Proc. Symp. WAKANYAKU 14,111(1981)
- 25) 宮崎利夫,et al., Chem. Pharm. Bull.,21,2545(1973), Carboxyhydr. Res. 65,235(1978), ibid.,101,160(1979)
- 26) Y. Ueno et al., Carboxyhydr. Res., 87,257(1980)
- 27) 薬性提要
- 28) 漢方薬術
- 29) 岡野正憲、現代東洋医学 4(2)43(1983)
- 30) 木村長久、漢方と漢薬 1(6)657(1934)
- 31) 皇漢医学
- 32) 清水藤太郎、漢方と漢薬 4(8)874(1937)
- 33) 小曾戸丈夫、『古矢知白「薬名象義」意識抄』

# 猪苓湯・阿膠

藥局文献檢索資料

1999. 11. 22

ヘルプ 履歴保存 検索結果 複写申込 検索終了

詳細情報 2件の集合中、1件目～2件目を表示しています。

表示されている情報についての説明はヘルプをクリックして下さい。  
複写を申し込む場合は、をチェックし、「複写申込」ボタンをクリックして下さい。  
チェックは一度に10件までです。

指定の詳細情報の表示が終了してから次の操作を行って下さい。

1 JST COPYRIGHT  
 CN 96D0078461  
 TI concanavalin Aを用いた短期試験法による猪苓湯配合生薬のラット膀胱発癌プロモーション作用に対する抑制効果  
 AU Sugiyama Kiyoshi (静岡県大漢方研); Azuhata Yasuharu, Matsuura Daisuke  
 JN W3344 (1340-6302) (Y0941A) 和漢医薬誌  
 VN VOL. 11, NO. 3 PAGE. 214-219 1995  
 CI (A) (JO) (EN) (JPN)  
 BD (96078461)  
 AB 5種の猪苓湯配合生薬(猪苓, 滑石, 阿膠, 沢瀉, 茯苓)の5% sodium saccharin (SS), 3% DL-tryptophan (Trp), 2% butylated hydroxyanisole (BHA) あるいは0.01% N-butyl-N-(4-hydroxybutyl) nitrosamine (BHBN) 誘発膀胱発癌プロモーション作用に対する抑制効果を短期試験法を用いて検討した。SS及びTrp誘発プロモーションが猪苓(3.5及び7mg/kg/day), 滑石(1及び2mg/kg/day), あるいは阿膠(250及び500mg/kg/day) 単独投与により, 猪苓湯投与(270及び540mg/kg/day)と同程度に抑制され, BHA及びBHBN誘発プロモーション作用を, 猪苓のみが強く抑制した。また, 猪苓湯去猪苓, 猪苓湯去滑石, 猪苓湯去阿膠, 猪苓湯去猪苓・滑石の各方剤投与により, 猪苓湯に比し, 抗プロモーション作用がそれぞれ38%, 31%, 23%及び54%減弱した  
 KW ぼうこう腫よう; コンカナバリンA; 漢方製剤; 腫よう過程; ラット; 動物; 病態生理; 薬物療法  
 FT [JAMAS; 膀胱腫瘍; Concanavalin A; 漢方薬; 腫瘍過程; ラット; 猪苓湯; 動物; 病態生理学; 薬物療法; 薬力学・薬理学]

2 JST COPYRIGHT  
 CN 96D0061696  
 TI 漢方方剤の薬理学的研究(第4報) 猪苓湯における阿膠の配剤意義について  
 AU 松田秀秋(近畿大 薬 薬用資源); 友廣教道, 森浦俊次, 他  
 JN W3344 (1340-6302) (Y0941A) 和漢医薬誌  
 VN VOL. 12, NO. 1 PAGE. 89-92 1995  
 CI (A) (JO) (JA) (JPN)  
 BD (96061696)  
 KW 研究; 薬理学; 漢方製剤; 複合製剤; ゼラチン; ラット; 動物  
 FT [JAMAS; 研究; 薬理学; 漢方薬; 配合製剤; Gelatin; 猪苓湯; ラット; 動物]

ヘルプ 履歴保存 検索結果 複写申込 検索終了

詳細情報 29件の集合中、6件目～29件目を表示しています。

表示されている情報についての説明はヘルプをクリックして下さい。  
複写を申し込む場合は、をチェックし、「複写申込」ボタンをクリックして下さい。  
チェックは一度に10件までです。

指定の詳細情報の表示が終了してから次の操作を行って下さい。

6 JST COPYRIGHT  
 CN 98A0771364, L98352517  
 TI 肝疾患の漢方治療 症例と処方 肝硬変 肝硬変の腹水に対する漢方治療  
 ET Treatment of hepatitis and cirrhosis by Kampo medicine. Herbal medicine to liver cirrhosis with ascites.  
 AU 原敬二郎(恵光会 原病院)  
 JN Z0649A (IGAYA) (0039-2359) 医学のあゆみ  
 VN 別冊(7月) PAGE. 128-129 1998  
 CI (A) (a1) (JA) (JPN)  
 AB C型肝炎由来の肝硬変症例(87歳, 女性)は, 強力ミノファージェンシー, 柴胡桂枝湯, アルダクトン投与するも, しだいに腹水貯留著明腹部膨満を来した。木防い湯を併用するも効なく, 木防い去石膏加ぶく茶ぼう硝湯に変更し, 便秘も改善し尿量も増加した。投与2か月後には, 腹水も下肢の浮腫も消失した。症例2(88歳, 男性)はC型肝炎による肝硬変症でラシックス, アルダクトン, グルコサンKを使用, さらに五苓散を併用し, 一進一退の状態が続いていた。木防い去石膏加ぶく茶ぼう硝湯も効果がなかった。紫えんを投与したところ尿量増加し, 5日間で中止し, その後, 厚朴生きょう半夏甘草人参を投与し腹水は著明に減じた。  
 CC GX06030U, GH03000W (615.32.03, 616.3)  
 KW ヒト; 症例報告; 老人; 女性; 男性; 病歴; 肝硬変; 腹水; 漢方製剤; 利尿薬; 処方; 柴胡桂枝湯; 併用療法; 証; ぶく茶; 植物性生薬; 五苓散; 治療計画  
 FT [投与計画; 木防い湯; ぼう硝湯; 猪苓湯]

7 JST COPYRIGHT  
 CN 98A0939838, L98313666  
 TI 難治性小児一次性ネフローゼ症候群への漢方方剤による一治験例 本邦における報告症例のまとめ  
 ET A Case of Refractory Nephrotic Syndrome in Childhood Treated with Kampo Formulation Alone. Study on all reports on the treatment of Kampo formulation alone for the nephrotic syndrome in Japan.  
 AU 永田紀四郎(永田小児科内科); 神靖衛(神インマヌエル医院)  
 JN Z0304B (0287-4857) 日本東洋医学雑誌  
 VN VOL. 49, NO. 2 PAGE. 257-271 1998  
 CI (A) (a2) (JA) (JPN) (写真5, 表1, 参20)  
 AB 症例は難治性ネフローゼ症候群の11歳女児で, 副腎皮質ステロイドホルモン剤に抵抗性を示した。気血虚, 便秘, 浮腫に対し, 十全大補湯, 大黃甘草湯, 人参湯, 五苓散, 四物湯, 四君子湯および二陳湯を投与して改善をみた。温び湯, 清生実び

散で増悪したが、柴苓湯、桃核承気湯、苓桂じゆつ甘湯により寛解した。国内文献に記載のある漢方方剤のみによる一次ネフローゼ症候群の治験例38例では、利尿剤を配した方剤の五苓散、猪苓湯などが多く、それにひ胃を補する方剤および柴胡剤が用いられていた。ステロイド剤に抵抗性を示した段階で速やかに投与を減量、中止し、漢方方剤に切りかえることが救命に有効な方法と考える。

CC GX06030U, GM05020V (615.32.03, 616.6-085:615.254/.256)  
 KW ネフローゼ症候群; ヒト; 症例報告; 子供; 長期投与; 長期管理; ACH【ホルモン】; 薬物療法; 気; 便秘; 浮腫; 漢方製剤

8 JST COPYRIGHT

CN 98A0762274, L98273482

TI 急性単純性ぼうこう炎の治療 高齢婦人に対する投与方法の工夫

ET Treatment for acute simple cystitis. Contrivance of the medication method for the old lady.

AU 田中栄一, 斉藤英和, 広井正彦 (山形大 医)

JN L1703A (0917-138X) JIM

VN VOL. 8, NO. 8 PAGE. 688-690 1998

CI (A) (b2) (JA) (JPN) (写図1, 表1, 参5)

AB 72歳の女性患者は数日間続く排尿時痛を主訴に受診した。尿検査では膿尿と細菌尿が認められ、急性ぼうこう炎と診断した。尿培養による起炎菌は大腸菌であった。治療としてはニューキノロン薬であるスバルフロキサシンを投与し、漢方製剤の猪苓い湯を内服とした。猪苓い湯を服用した数時間後より尿量が増加し、排尿時痛は2日間でおさまり、1週間後の尿検査では膿尿は正常化し、細菌尿は陰性化した。スバルフロキサシンは抗菌力が強く、血中消失半減期が長いことを示した。スバルフロキサシンの単回療法と猪苓い湯の併用は高齢婦人の急性単純ぼうこう炎の治療に有用であることを示した。

CC GM05020V (616.6-085:615.254/.256)

KW ぼうこう炎; 投与方法; ヒト; 女性; 老人; 症例報告; 膿尿; 大腸菌; キノロン系抗細菌薬; 漢方製剤; 血しょう中濃度; 利尿作用; 消炎作用

FT [スバルフロキサシン; 猪苓湯]

9 JST COPYRIGHT

CN 97A0516240

TI 嚢胞性腎う尿管炎の1例

ET Case of the cystic renal pelvis ureteritis.

AU 江原省治 (平田市病院)

JN Z0940A (0559-829X) 島根医学

VN VOL. 17, NO. 1 PAGE. 56-58 1997

CI (A) (a2) (JA) (JPN) (写図4, 参5)

AB 症例は顕微鏡的血尿を主訴とした63歳女性で、急性腎う腎炎の既往があった。尿所見は顕微鏡的血尿を示したが膿尿もなく、尿細菌培養陰性、尿細胞診陰性であった。ぼうこうは嚢胞性ぼうこう炎を示した。点滴静注腎う造影及び逆行性腎う造影では右腎う、上部尿管に半円形、表面平滑な陰影欠損像が散在性に認められたが、尿管尿細胞診は陰性であった。嚢胞性腎う尿管炎を疑ったが、腎う尿管腫ようも否定できず、硬性尿管鏡による尿管鏡検査を施行した。右上部尿管、腎うには半球状、表面平滑、淡黄色の腫りゅうが散在性に認められ、生検により嚢胞性腎う腎炎と診断した。猪苓湯およびセファクロルの内服で経過観察中である。

CC GM03000L (616.61/.69)

KW 尿管疾患; 腎う; 嚢胞; 腎臓病; 鑑別診断; 内視鏡検査; 生検; 薬物療法; ヒト; 症例報告; 漢方製剤; アミン; カルボン酸; ラクタム; 有機塩素化合物; 硫黄複素環化合物; 双性イオン; セファロsporin類

FT [J CME; 嚢胞性腎う尿管炎; 尿管鏡検査; 猪苓湯; セファクロル]

10 JST COPYRIGHT

CN 96A0179872, L96163298

TI 漢方牛歩録 (139) 急性ぼうこう炎の1例

ET Chinese medicine Gyuuhō-roku. (139) A case of acute cystitis.

AU 中村謙介 (千葉古方漢方研究会)

JN G0944A (0451-307X) 漢方の臨床

VN VOL. 43, NO. 1 PAGE. 106-107 1996

CI (A) (a1) (JA) (JPN)

AB 標記疾患に対し、清心蓮子飲 (1) が効果があった一例について報告した。44歳の女性の標記疾患が抗生物質による治療後も完治せず、猪苓湯を投与したが効果がなく、1に転方したところ著効を示した。この二薬方証は類似しているが、1の証ではひ胃の虚が、猪苓湯の証では水毒が見られるという違いがある。症状から証を決定することの難しさについて論じた

CC GX06030U, GM05020V (615.32.03, 616.6-085:615.254/.256)

KW ヒト; 女性; ぼうこう炎; 頻尿; 血尿; 漢方製剤; 証; 抗生物質; トランキライザ; 症例報告

FT [清心蓮子飲]

11 JST COPYRIGHT

CN 96A0092797, L96144366

TI ツムラ柴胡桂枝乾きょう湯による不眠症の治療経験

ET A Case of Insomnia Treated by the Kampo Formula "Saiko-keishi-kankyo-to".

AU 山田寛幸, 福島和昭 (慶応大 大学病院); 村田高明 (慶応大病院 漢方クリニック)

JN L1699A (0915-8995) 日本東洋心身医学研究会誌

VN VOL. 8, NO. 1 PAGE. 73-76 1993

CI (C) (a2) (JA) (JPN) (表1, 参7)

AB 症例は60歳男性で、不眠と頻尿を主訴とし、虚証と診断された。ツムラ抑肝散加陳皮半夏および猪苓湯からツムラ柴胡桂枝乾きょう湯および清心蓮子飲に変方したところ、入眠障害は改善し熟眠感を得ようになり、頻尿も改善し夜間尿はほとんど消失した

CC GR040300, GX06030U (615.86, 615.32.03)

KW 不眠; 頻尿; 漢方製剤; ヒト; 症例報告

FT [柴胡桂枝乾きょう湯; 清心蓮子飲]

- 12 JST COPYRIGHT  
 CN 95A0980023, L96113308  
 TI 漢方診療余話 (7)  
 ET Chinese medicine medical care. (7).  
 AU 永井良樹 (東大)  
 JN G0944A (0451-307X) 漢方の臨床  
 VN VOL. 42, NO. 10 PAGE. 1197-1199 1995  
 CI (A) (a2) (JA) (JPN) (参2)  
 AB 66歳主婦, 6年前からの咳で夜も眠れなかった。麦門冬湯エキス, 柴朴湯エキスを服用し, 自覚的によくなったが, 夜間の発作的な咳が消えなかった。人参養栄湯を投与したところ6週後には咳がほとんど消えた。65歳主婦, 7年前からの気管支ぜん息に大柴胡湯合半夏厚朴湯合小青竜湯に桂枝ぶく苓丸料エキスを兼用し軽快した。42歳主婦, 尿失禁に清心蓮子飲エキスを投与したが効果なく, 猪苓湯合四物湯エキスを2週間投与したところ尿失禁は消失した  
 CC GX06030U, G105020J (615.32.03, 616.2-085)  
 KW ヒト; 咳; 気管支ぜん息; 尿失禁; 証; 漢方製剤; 症例報告; 大柴胡湯; 半夏厚朴湯; 小青竜湯; 女性  
 FT [人參養栄湯; 猪苓湯; 四物湯]
- 13 JST COPYRIGHT  
 CN 96D0020376  
 TI 猪苓湯が背部痛と頸部の凝りに有効であった1症例  
 AU 新井信 (東京女医大東洋医研); 中野頼子, 川越宏文, 他  
 JN W0351 (0451-307X) (G0944A) 漢方の臨床  
 VN VOL. 42, NO. 5 PAGE. 538-542 1995  
 CI (A) (JO) (JA) (JPN)  
 BD (96020376)  
 KW ヒト; 症例報告; 腰痛; 首; 漢方製剤; 評価; 頸部疾患; 成人; 中年期; 女性; 薬物療法; 治療法  
 FT [JAMAS; 人; 症例報告; 腰痛; 頸部; 漢方薬; 医薬品評価; 頸部疾患; 猪苓湯; 中年 (45~64); 女; 薬物療法; 治療法]
- 14 JST COPYRIGHT  
 CN 95A0497348, L95353863  
 TI 猪苓湯が背部痛と頸部の凝りに有効であった1症例  
 ET Relief of back pain and stiff neck with Chorei-to : report of a case.  
 AU 新井信, 中野頼子, 川越宏文, 小森田俊幸, 佐藤弘, 代田文彦 (東京女医大 東洋医学研)  
 JN G0944A (0451-307X) 漢方の臨床  
 VN VOL. 42, NO. 5 PAGE. 538-542 1995  
 CI (A) (a2) (JA) (JPN) (写図2, 表1, 参15)  
 AB 尿路感染症や尿路結石に使用される猪苓湯をぼうこう炎に用いた場合に, 同時に背部痛と頸部の凝りが改善した症例 (62歳女性) を報告した。また猪苓湯が背部痛等に有効であった理由を文献的に推論した。まず猪苓湯方中の三味が背部痛等の原因であるたんをさばく作用があることを挙げた。次に足太陽ぼうこう経は背部を下りし背部痛はその障害により生じることを挙げた  
 CC GX06030U, GM05020V (615.32.03, 616.6-085; 615.254/.256)  
 KW ヒト; 女性; 成人; ぼうこう炎; 背部; とう痛; 首; 肩こり; かくたん; 東洋医学; 漢方製剤; 症例報告  
 FT [猪苓湯]

- 15 JST COPYRIGHT  
 CN 95A0435164, L95282842  
 TI 難治性多発性筋炎患者への漢方治療 (六味丸, 猪苓湯) による一改善例について  
 ET A Case of Intractable Polymyositis Improved by Kampo Therapy (Rokumi-Gan, Chorei-To).  
 AU 片桐敏郎, 大野修嗣, 秋山雄次, 浅岡俊之, 今井隆喜, 田中政彦, 鈴木輝彦, 土肥豊 (埼玉医大)  
 JN Z0304B (0287-4857) 日本東洋医学雑誌  
 VN VOL. 45, NO. 4 PAGE. 881-885 1995  
 CI (A) (a2) (JA) (JPN) (写図3, 表2, 参7)  
 AB 症例は42歳女性。全身倦怠感等を主訴とし, 多発性筋炎と診断された。当初ステロイド剤に良好に反応したが再燃。以後, 西洋医学的治療に難渋した。東洋医学的所見にて腎陰虚と診断し, 六味丸を投与したところ, CPKは200mU/m前後まで低下し, 全身倦怠感等は改善した。しかし, 下肢の浮腫が持続した為, 猪苓湯に変更したところ, 浮腫は改善し, CPKは正常化した  
 CC GX06030U, GG05020D (615.32.03, 616.7-085)  
 KW ヒト; 女性; 成人; 多発性筋炎; 漢方製剤; 症例報告; 証; クレアチンキナーゼ; 薬物療法  
 FT [難治性多発性筋炎; 六味丸; 猪苓湯; 腎陰虚; クレアチンホスホキナーゼ]
- 16 JST COPYRIGHT  
 CN 95A0427631, L95282855  
 TI 著効を得た若干の症例報告  
 ET Case reports on higher efficacy.  
 AU 宮崎綾子 (十字屋薬局)  
 JN G0944A (0451-307X) 漢方の臨床  
 VN VOL. 42, NO. 4 PAGE. 435-439 1995  
 CI (A) (a1) (JA) (JPN)  
 AB 8歳男児における尿管手術後の激痛と排尿難の治験。発熱も続いたが術医の治療で有効を得ず, 漢方施治, 猪苓湯合しゃく薬甘草湯投与にて解熱した。5日間服用し続け尿量増, 痛み軽快, 排尿間隔も長くなり1週後退院した。46歳女性で便秘を主訴とし来院。大黄末, セナ等は慣れるに従い効果なくなった。腹部膨満による苦痛が激しかったが, 旋覆花代しゃ石湯10日間服用で全快した  
 CC GX06030U (615.32.03)  
 KW 漢方製剤; 術後痛; 排尿障害; 便秘; ヒト; 症例報告; 咳  
 FT [猪苓湯; しゃく薬甘草湯; 苓桂味甘湯; 旋覆花代しゃ石湯]

17 JST COPYRIGHT  
 CN 95A0180933, L95162014  
 TI 尿閉・尿失禁に半夏厚朴湯  
 ET Hange-koboku-to for urinary retention, incontinence.  
 AU 岡利幸 (岡外科)  
 JN G0944A (0451-307X) 漢方の臨床  
 VN VOL. 42, NO. 1 PAGE. 71-74 1995  
 CI (A) (a1) (JA) (JPN) (表3, 参7)  
 AB 半夏厚朴湯 (A) を用い著効を得た2症例を報告した。症例1は66歳の肥満症の男性で、興奮し尿閉を来した。Aにより自然排尿があり、以後全く排尿障害はない。症例2は67歳男性で、既往歴に尿管結石等をもつ。かなり長期の猪苓湯、しゃく薬甘草湯等の服用でも、尿失禁は治癒しなかったが、Aにより一回の服用で治癒した。約2か月後再発したが、また一回の服用で治癒した  
 CC GX06030U, GM05020V (615.32.03, 616.6-085:615.254/.256)  
 KW 尿閉; 尿失禁; 半夏厚朴湯; ヒト; 症例報告; 予後

18 JST COPYRIGHT  
 CN 94A0635255, L94283007  
 TI 柴胡四物湯合猪苓湯去滑石加烏頭が著効したネフローゼ症候群の一例  
 ET A Case of Nephrotic Syndrome Effectively Treated with Saiko-Shimotsu-to with Uzu and Chorei-to without Kasseki.  
 AU 野崎豊  
 JN Z0304B (0287-4857) 日本東洋医学雑誌  
 VN VOL. 45, NO. 1 PAGE. 129-135 1994  
 CI (A) (a1) (JA) (JPN) (写図4, 表12, 参7)  
 AB 蛋白尿、乏尿、浮腫を主訴とする56歳男性。ステロイド、免疫抑制剤による治療は効果なく来院。諸検査項目から標記症 (N) と診断し、漢方的証所見から八味丸合人参湯とルネトロンから投薬を開始したが、胸脇苦満ほかから柴胡四物湯を主に猪苓湯、烏頭を加え、また滑石を玄子など症状を変化をみながら検討し最終的に標記処方となった。浮腫、蛋白尿、低蛋白血症が完全に消失した  
 CC GW11020C, GX06030U, GM03000L (615.254.03, 615.32.03, 616.61/.69)  
 KW 症例報告; 男性; ネフローゼ症候群; 漢方製剤; 証; エキス; 経口投与; 蛋白尿; 泌尿器作用薬  
 FT [柴胡四物湯合猪苓湯去滑石加烏頭]

19 JST COPYRIGHT  
 CN 94A0490233, L94243272  
 TI 前立腺肥大症に対する薬物療法 前立腺肥大症に対する漢方薬の適用  
 ET Pharmacotherapy for prostatic hypertrophy. Application of traditional Chinese medicines for prostatic hypertrophy.  
 AU 石橋晃 (北里大 医)  
 JN Z0671A (0044-0035) 薬局  
 VN VOL. 45, NO. 6 PAGE. 1401-1405 1994  
 CI (A) (b1) (JA) (JPN) (表2, 参9)  
 AB 前立腺肥大症に対する漢方薬の用い方について、古典的考え方、適応をまとめた。次いで用いられる主な漢方方剤 (八味地黄丸、牛車腎気丸など) とその使い方を解説。さらに漢方薬が奏功した症例 (73歳) を呈示し、経過を紹介した

CC GM05020V, GX06030U (616.6-085:615.254/.256, 615.32.03)  
 KW 前立腺肥大; 漢方製剤; 証; 八味地黄丸; 症例報告; ヒト; 臨床薬理試験  
 FT [牛車腎気丸; 清心蓮子飲; 苓きょうじゅつ甘湯; 五淋散; 猪苓湯]

20 JST COPYRIGHT  
 CN 92A0296195, L93062574  
 TI 下肢手術後の浸出液に対する五苓散、猪苓湯の投与例  
 ET Administration case of Gorei-san Extrat granules, Chore-to Extract Granules for exudation after operation of lower extremities.  
 AU 松浦昭吉 (松浦医院)  
 JN S0791B (0288-3643) 漢方診療  
 VN VOL. 11, NO. 3 PAGE. 26-28 1992  
 CI (A) (a1) (JA) (JPN) (写図1, 参16)  
 AB 下肢手術後の遷延するしん出液に対し、漢方製剤を投与し、早期治癒が得られた症例を報告した。症例1 (65歳女性)、2 (72歳女性) が透明しん出液で五苓散7.5g (14日分) 投与し有効であった。症例4 (62歳女性) は根的外科手術が必須であった。症例3 (66歳男性)、5 (18歳男性) の有色半透明) しん出液には猪苓湯7.5gを7~14日分投与し奏効した  
 CC GW11020C, GX06030U, GC07050M (615.254.03, 615.32.03, 617-089.168)  
 KW ヒト; 老人; 女性; 男性; 症例報告; 術後合併症; 下肢; 利尿薬; 副作用; 経口投与; 切除術; 五苓散; 漢方製剤  
 FT [和漢薬; 猪苓湯]

21 JST COPYRIGHT  
 CN 92A0296438, L92322907  
 TI 腎移植後慢性期の腎機能低下に対する漢方療法の有用性について  
 ET Availability of Chinese medicine therapy for chronic renal function decrease after kidney transplantation.  
 AU 玉置透, 伊保谷憲子, 川口美香, 加地紀夫, 吉田雅治, 河野和之, 松野直徒, 小崎正巳 (東京医大 八王子医療セ); 山田光胤 (金き会診療所)  
 JN S0791B (0288-3643) 漢方診療  
 VN VOL. 10, NO. 6 PAGE. 15-17 1991  
 CI (A) (a1) (JA) (JPN) (写図3, 参2)  
 AB 慢性期の拒絶反応を含む腎移植患者6例において、従来用いられている抗血栓剤や抗拒絶療法では奏効せず、ツムラ漢方エキス製剤を併用したところ、血清クレアチニン値の低下や、蛋白尿の症状改善効果が認められた2例を報告した。症例1は39歳の女性で、当帰しゃく薬散 (1)、いんちん五苓散を投与し、血清クレアチニン値の低下、貧血の著明な改善を認めた。症例2は41歳の女性で、1合猪苓湯を投与し、蛋白排せつ量は1g/日以下となり、経過中血清クレアチニン値は安定した  
 CC GW220200, GX06030U, GM05030G (615.37.03, 615.32.03, 616.6-089)  
 KW ヒト; 女性; 症例報告; 腎不全; 腎臓移植; 拒絶反応; 副作用; 経口投与; 蛋白尿; 免疫抑制薬; 抗凝固薬; 併用効果; 当帰しゃく薬散; 漢方製剤; ラクタム; 炭酸誘導体  
 FT [和漢薬; いんちん五苓散; 猪苓湯; クレアチニン]  
 SW シクロスポリン (J34.321H); アザチオプリン (J2.047H); プレドニソロン (J39.548J); メチルプレドニソロン (J3.872E); ガベキサート (J22.697A); ジピリダモール (J8.585E); トラピジル (J3.445B)

22 JST COPYRIGHT  
 CN 90A0652784, L90302808  
 TI 特異な舌所見を呈した尿路結石に対する漢方治療  
 ET Treatment by Chinese orthodox medicine for calculus in urinary tract, presenting specific tongue findings.  
 AU 峯尚志 (木津川厚生会 加賀屋病院)  
 JN S0791B (0288-3643) 漢方診療  
 VN VOL. 6, NO. 5 PAGE: 47-50 1987  
 CI (A) (a1) (JA) (JPN) (写図8, 表1, 参11)  
 AB 48歳男性で、左季肋部痛を主訴として入院。左尿管結石を第3腰椎左側に確認。水毒の所見をもち、発病とともに、地図状の苔を示した。尿路結石を目標に、ツムラ猪苓湯エキスか粒7.5g分3及びツムラしゃく薬甘草湯エキスか粒5.0g分2の合方によって経過観察。自覚症状の消失、他覚的にも改善したため退院。発病後3か月目、シュウ酸カルシウム系の結石の排出とともに、地図状舌の改善をみた  
 CC GW11020C, GX06030U, GM05020V (615.254.03, 615.32.03, 616.6-085:615.254/.256)  
 KW ヒト; 男性; 症例報告; 尿管結石; 結石溶解薬; 植物性生薬; 副作用; 経口投与; 自覚症状; 漢方製剤  
 FT [和漢薬; 猪苓湯; しゃく薬甘草湯]

23 JST COPYRIGHT  
 CN 90A0666842, L90293050  
 TI エキス剤による温病の治療について  
 ET Treatment of unbyo with extract preparation.  
 AU 高橋秀実 (東京中医学研究会)  
 JN S0791B (0288-3643) 漢方診療  
 VN VOL. 6, NO. 2 PAGE. 44-47 1987  
 CI (A) (a2) (JA) (JPN) (写図2)  
 AB 現代中国医学の中では「傷寒」と同様にきわめて重要な位置づけにある「温病」の歴史および簡単な概念を紹介した。西洋医学的には腎う炎及び伝染性単核球症と診断してよいと思われる全く病名の異なる2症例は中医学的には温病の特徴をもったものであり、湿熱をとり除くため白虎加人参湯エキス剤、猪苓湯、いんちん五苓散エキス等を用い良好な結果を得た症例を報告した  
 CC GX06030U, GM05020V, GK05020P (615.32.03, 616.6-085:615.254/.256, 616.15-085:615.273)  
 KW ヒト; 腎う炎; リンパ球増加症; 証; エキス剤; 薬物療法; 男性; 症例報告; 腺熱; 漢方製剤  
 FT [伝染性単核球増加症; 和漢薬; 温病; 白虎加人参湯; 猪苓湯; いんちん五苓散]

24 JST COPYRIGHT  
 CN 90A0585302, L90252965  
 TI 神経性頻尿に対する漢方著効例  
 ET Markedly effective cases of Chinese orthodox medicine for psychogenic pollakisuria.  
 AU 木場藤一郎 (津医療生活協同組合高茶屋診療所)  
 JN S0791B (0288-3643) 漢方診療  
 VN VOL. 9, NO. 1 PAGE. 47-48 1990  
 CI (A) (a1) (JA) (JPN) (写図1, 表1)  
 AB 神経性頻尿の58歳女性に防い黄ぎ湯7.5g, 猪苓湯7.5gを3日間投与した。服用初日より尿の勢いがよくなり、2日目は残尿感がなくなり、服用後4~5日で排尿回数5~6回/日となり、動作が楽になった。引き続き前処方投与し、尿量は以前の50~100cc/回から200~250ccへと増量し健康となり頻尿がなくなった。現在防い黄ぎ湯7.5g単独で経過は良好であり投与前の不快感は改善した  
 CC GX06030U, GM05020V (615.32.03, 616.6-085:615.254/.256)  
 KW ヒト; 女性; 排尿障害; エキス剤; 経口投与; 薬物療法; 東洋医学; 症例報告; 神経症; 植物性生薬; 頻尿; 漢方製剤  
 FT [和漢薬; 防い黄ぎ湯; 猪苓湯; 残尿感]

25 JST COPYRIGHT  
 CN 90A0408949, L90183197  
 TI 天ぼうそう (類) 天ぼうそうの漢方治療の1例  
 ET Pemphigus. A case of (pemphigoid) pemphigus treated by Chinese orthodox medicine.  
 AU 新井喜正 (兵庫県尼崎病院)  
 JN F0736B (0388-6719) 現代東洋医学  
 VN VOL. 11, NO. 1, 臨増 PAGE. 349-350, 151 1990  
 CI (A) (a1) (JA) (JPN) (写図3, 参4)  
 AB 81歳、男性の高血圧症の漢方治療中に(類)天ぼうそうが出現したので、猪苓湯と桂枝ぶく苓丸を合方し服用させた。服薬1週間後には、水ぼうそうの新生は止まり、水ぼうそうも消失した。3週後には、発赤、紅斑も消失した。1か月後には、色素沈着もなく治癒した  
 CC GX06030U, GW12020J, GF05020A (615.32.03, 615.26.03, 616.5-085)  
 KW ヒト; 男性; 症例報告; 薬物療法; 天ぼうそう; 皮膚用薬; 経口投与; 桂枝ぶく苓丸; 漢方製剤  
 FT [和漢薬; 猪苓湯]

26 JST COPYRIGHT  
 CN 90A0408940, L90183147  
 TI 慢性腎炎 慢性腎炎の1例  
 ET Chronic nephritis. A case of chronic nephritis.  
 AU 秋葉哲生 (伝統医学研究会あきば病院)  
 JN F0736B (0388-6719) 現代東洋医学  
 VN VOL. 11, NO. 1, 臨増 PAGE. 317-318 1990  
 CI (A) (a1) (JA) (JPN) (参2)  
 AB 13歳、男児の慢性腎炎に対して小柴胡湯と猪苓湯の合方を服用させた。投与後8か月は特に変化を認めず、継続投与をしたところ、約10か月後に血尿は消失、尿蛋白も陰性となった

CC GX06030U, GW11020C, GM05020V (615.32.03, 615.254.03, 616.6-085:615.254/.256)  
 KW ヒト; 男性; 子供; 症例報告; 薬物療法; 腎炎; 泌尿器作用薬; 経口投与; 小柴胡湯; 病氣; 漢方製剤  
 FT [慢性疾患; 和漢薬; 猪苓湯]

27 JST COPYRIGHT  
 CN 89A0277420, L89162621  
 TI シスチン尿症の結石予防と多発性頻発性尿路結石症の治療と予防に対してツムラ猪苓湯合四物湯の使用経験  
 ET Clinical use of Tsumura Choreito-goshibutsuto for prevention of calculus of cystinuria, and for treatment and prevention of multiple frequent urinary calculus.  
 AU 三瀬徹 (三瀬医院)  
 JN Y0941A (0289-730X) 和漢医薬学会誌  
 VN VOL. 5, NO. 3 PAGE. 320-321 1988  
 CI (A) (a1) (JA) (JPN) (写真1, 表1)  
 AB シスチン尿症の19歳男子に猪苓湯合四物湯(1) 5.0gを投与して2年間経過を観察。尿中シスチン結晶は半年後完全消失した。1年後尿道に結石がかん屯し、手術により摘出したが、以後結石はなかった。2年後1週間休薬したところ結晶が認められた。尿中アミノ酸は投薬前後で変化がなかった。多発性頻発性尿路結石症18例に1を投与し12例に著効をみた  
 CC GW11020C, GX06030U, GM05020V (615.254.03, 615.32.03, 616.6-085:615.254/.256)  
 KW ヒト; 男性; 症例報告; 尿結石; 植物性生薬; エキス; 経口投与; 副作用; 予防; 尿中排せつ; シスチン尿症; アセチルグルコサミニダーゼ; 漢方製剤  
 FT [和漢薬; 猪苓湯; 四物湯; TJ-122]

28 JST COPYRIGHT  
 CN 87A0321149, L87212886  
 TI 現代漢方症例選集 第3集 消化器疾患 慢性肝炎および慢性腎炎の症例  
 ET Anthology of cases of Chinese orthodox medicine in current days. 3. Diseases of the digestive organs. Cases of chronic hepatitis and chronic nephritis.  
 AU 平沢敬一 (宮浦医院)  
 JN F0736B (0388-6719) 現代東洋医学  
 VN VOL. 8, NO. 1, 臨増 PAGE. 58 1987  
 CI (A) (a1) (JA) (JPN)  
 AB 57歳, 女性。倦怠感を主訴とする慢性肝炎に小柴胡湯エキス4g/日を投与した結果, 約2年後, 肝機能は正常に復し, その後, 3g/日を投与中で肝機能の異常は認めていない。50歳, 女性。全身倦怠感, 顔面・四肢の浮腫感を主訴とした慢性腎炎に猪苓湯エキス4g/日を投与, 約4年経過後, 尿蛋白は陰性, 潜血も全くなく, 血液所見も正常を呈した  
 CC GX06030U, GW09020B, GW11020C, GH05020G, GM05020V (615.32.03, 615.24.03, 615.254.03, 616.3-085, 616.6-085:615.254/.256)  
 KW ヒト; 薬物療法; 症例報告; 肝炎; 腎炎; 植物性生薬; 経口投与; 肝臓病薬; 肝機能検査; 泌尿器作用薬; 腎機能検査; 小柴胡湯; 病氣; 漢方製剤  
 FT [慢性疾患; 和漢薬; 猪苓湯]

29 JST COPYRIGHT  
 CN 87A0026568, L87022122  
 TI 漢方エキス剤が著効を奏した難病2例  
 ET Two cases of intractable diseases markedly responding to extracted Chineseherbal and crude drugs.  
 AU 松井志津 (松井医院)  
 JN S0791B (0288-3643) 漢方診療  
 VN VOL. 5, NO. 4 PAGE. 41-42 1986  
 CI (A) (a1) (JA) (JPN) (表1)  
 AB 慢性関節リウマチ(症例1:66才女)と慢性肝炎(症例2:50才男)患者に漢方エキス剤を投与し奏効した。症例1は, 自力では一歩も歩くことのできない重症患者であったが, 小柴胡湯5.0g投与により血液検査値が好転, Arcaerucに対して猪苓湯が奏効した。症例2は低血圧症, 低カルシウム, 高脂血症があり, 小柴胡湯を単独に用い, 高麗人參を併用し, 大いに奏効した  
 CC GW15020E, GX06030U, GG05020D, GH05020G (615.276.03, 615.32.03, 616.7-085, 616.3-085)  
 KW ヒト; 男性; 女性; 症例報告; 活動性慢性肝炎; 植物性生薬; エキス剤; 経口投与; 用量; 副作用; 老人; 成人; 小柴胡湯; 釣藤散; 慢性関節リウマチ; 病氣; 漢方製剤  
 FT [関節リウマチ; 慢性疾患; 和漢薬; 猪苓湯]

猪苓湯の薬理学的研究(1)ラットにおける利尿作用について  
-油田 正樹-

生薬: 猪苓、滑石、茯苓、沢瀉、阿膠  
成分:  
処方: 猪苓湯

雑誌名: 泌尿紀要 27巻 1981年 6号 67頁 通算 頁

報告: 実験 標的器官: 泌尿器・生殖器・肛門  
剤形: エキス剤 投与経路: 動物経口 投与量: 100.00g/2,5ml

併用薬:

内容: ①猪苓湯はエキスでも煎剤でもほぼ同様の利尿作用を示した②猪苓湯の構成生薬(猪苓、沢瀉、滑石、茯苓、阿膠)のうち本実験方法で利尿作用のみられたものは阿膠だけであった

利尿剤の作用機序(五苓散、猪苓湯、柴苓湯)第1報: 整腸、水分代謝、利尿効果、腎機能に及ぼす影響について -原中 瑠璃子-

生薬:  
成分:  
処方: 五苓散、猪苓湯、柴苓湯

雑誌名: WAKAN-YAKU 14巻 1981年 号 105頁 通算 頁

報告: 実験 標的器官: 泌尿器・生殖器・肛門  
剤形: エキス剤 投与経路: 動物経口 投与量: 1.25g/kg

併用薬:

内容: 漢方薬投与群は西洋薬投与群と比較して①発育が良好②24時間尿量は劣らない③同様の24時間尿量排泄量の増加が認められた(K喪失傾向が少ない)④漢方薬投与群で腎機能検査異常、腎の組織学的所見で腎血流量増加が推定された

漢方方剤の抗腫瘍効果と細網内皮活性に及ぼす影響  
-志村 圭志郎-

生薬:  
成分:  
処方: 人參湯、小柴胡湯、補中益気湯、十全大補湯、猪苓湯「人參不含」

雑誌名: 漢方医学 8巻 1984年 5号 14頁 通算 頁

報告: 実験 標的器官: 内分泌・代謝系  
剤形: エキス剤 投与経路: 動物非経口 投与量: 300.00mg/kg

併用薬:

内容: ①何れのエキスでも300mg/kg、10日間1.p投与群でEACに対して生存日数の延命が認められた。②これらの方剤エキス投与群で網内皮系の活性が有意に増加した。③小柴胡湯、人參湯では胸腺および脾臓の摘出臓器重量比が増加した。

利尿剤の作用機序(五苓散、猪苓湯、柴苓湯)第1報: 成長、水分代謝、利尿効果、腎機能に及ぼす影響について -原中 瑠璃子-

生薬:  
成分:  
処方: 五苓散、猪苓湯、柴苓湯

雑誌名: WAKAN-YAKU 14巻 1981年 号 105頁 通算 頁

報告: 実験 標的器官: 肝・胆・腎  
剤形: エキス剤 投与経路: 動物経口 投与量: 1.25g/kg

併用薬: Acetazolamide, Furosemide, Prednisolone, Deslanoside, Digitalis

内容: ①漢方薬投与により尿量の増加が特に猪苓湯において認められ、Na、K排泄量においてもK喪失傾向が少なかった。②各臓器の水分含有量はDigitalis末群で低下が認められた。③漢方薬投与群で腎機能検査正常、腎の組織学的所見で腎血流量低下が推定された。

猪苓湯の実験的慢性腎不全に及ぼす影響について  
-原中 瑠璃子-

生薬：  
成分：  
処方：猪苓湯

雑誌名：WAKAN-YAKU 巻 1983年 16号 183頁 通算 頁

報告：実験 標的器官：肝・胆・腎  
剤形：エキス剤 投与経路：動物経口 投与量：0.14g/kg

併用薬：

内容：猪苓湯を投与した結果①Urea N, Creatinine Clearance の改善②血漿NgKの増加及び骨以外の臓器でのMg, Caの増加の改善③Rbの投与成績における有意の変化が認められた。

利尿剤の作用機序[五苓散、猪苓湯、柴苓湯]第2報：電解質代謝に及ぼす影響について -渡部 幸恵-

生薬：  
成分：  
処方：五苓散、猪苓湯、柴苓湯

雑誌名：WAKAN-YAKU 巻 1981年 14号 111頁 通算 頁

報告：実験 標的器官：肝・胆・腎  
剤形：エキス剤 投与経路：動物経口 投与量：

併用薬：Thiazide, Furosemide, Acetazolamide, Prednisolone, Deslanoside薬末

内容：漢方利尿剤と西洋利尿剤の電解質に及ぼす影響を実験結果より比較すると、漢方利尿剤の電解質に対する作用は①西洋利尿剤ほど作用は強くない事②Naの腎臓への再吸収を抑制する事③猪苓湯の利尿作用に強心配糖体作用がある事などが示唆された。

尿路結石に対する漢方剤の科学的解析に関して  
-小川 由英-

生薬：  
成分：  
処方：猪苓湯エキス、裏白樫エキス、ビルビン酸

雑誌名：漢方医学 9巻 1985年 10号 119頁 通算 頁

報告： 標的器官：肝・胆・腎  
剤形：エキス剤 投与経路：動物経口 投与量：

併用薬：

内容：猪苓湯をシュウ酸マグネシウム結石症に投与した結果①結石形成抑制作用を有する事を認めた。②他の結石形成に関与するマグネシウム、カルシウム及びクエン酸の排泄には影響しなかった。③結石形成抑制作用は裏白樫より勝っていた。④開始4週間で尿中シュウ酸濃度が低下した。

利尿剤の作用機序[五苓散、猪苓湯、柴苓湯]第1報：成長、水分代謝、利尿効果、腎機能に及ぼす影響について -原中 瑠璃子-

生薬：  
成分：  
処方：五苓散、猪苓湯、柴苓湯

雑誌名：WAKAN-YAKU 巻 1981年 14号 105頁 通算 頁

報告：実験 標的器官：肝・胆・腎  
剤形：エキス剤 投与経路：動物経口 投与量：1.25kg

併用薬：Acetazolamide/Furosemide, Prednisolone, Deslanoside, Digitalis

内容：①体重増加曲線において漢方薬投与群の方が良好な発育を示した。②24時間尿量、Na, K排泄量も漢方薬投与群では西洋薬投与群と同等な増加を示し尿量では特に猪苓湯が安定し、漢方薬の方がK排泄量が少なかった。③漢方薬投与群では腎機能検査正常及び腎血流量増加が推定された。

漢方方剤の抗腫瘍効果と細網内皮系活性に及ぼす影響  
-伊藤 均-

生薬: \_\_\_\_\_  
成分: \_\_\_\_\_  
処方: 人參湯、小柴胡湯、補中益氣湯、十全大補湯、猪苓湯

雑誌名: 漢方医学 8巻 1984年 5号 14頁 通算 頁

報告: 実験 標的器官: 内分泌・代謝系  
剤形: エキス剤 投与経路: 動物非経口 投与量: 100.00mg/kg

併用薬: \_\_\_\_\_

内容: ①いずれの方剤エキスとも300mg/kg、10日間i.p投与群でEAC2対して生存日数の延命が認められた。②これらの方剤エキス投与群では網内系の活性が有意に増加した。③小柴胡湯、人參湯では胸腺及び脾臓の摘出器重量体積比が増加した。

猪苓湯の薬理学的研究(1)ラットにおける利尿作用について  
-油田 正樹-

生薬: 猪苓、滑石、茯苓、沢瀉、阿膠  
成分: \_\_\_\_\_  
処方: 猪苓湯

雑誌名: 泌尿紀要 27巻 1981年 6号 677頁 通算 頁

報告: 実験 標的器官: 泌尿器・肛門  
剤形: エキス剤 投与経路: 動物経口 投与量: 100.00g/2,5ml

併用薬: \_\_\_\_\_

内容: ①猪苓湯はエキスでも煎剤でもほぼ同様の利尿作用を示した②猪苓湯の構成生薬(猪苓、沢瀉、滑石、茯苓、阿膠)のうち本実験方法で利尿作用のみられたものは阿膠だけであった

利尿剤の作用機序[五苓散、猪苓湯、柴苓湯]第1報: 成長、水分代謝、利尿効果  
腎機能に及ぼす影響について -原中 瑠璃子-

生薬: \_\_\_\_\_  
成分: \_\_\_\_\_  
処方: 五苓散、猪苓湯、柴苓湯

雑誌名: WAKAN-YAKU 8巻 1981年 14号 105頁 通算 頁

報告: 実験 標的器官: 腎臓・腎  
剤形: エキス剤 投与経路: 動物経口 投与量: 0.10g/kg

併用薬: Thiazide, Acetazolamide, Furosemide, Deslanoside, Digitalis葉末

内容: ①漢方薬投与群では、西洋薬投与群に比較し良好な発育を示した。②24時間尿量では、特に猪苓湯で安定した増加がみられた。③24時間Na<sub>2</sub>K排泄量は両剤共増加したが、漢方薬投与群ではk喪失傾向が少なかった。④漢方薬投与群では腎機能検査正常、腎血流増加が示唆された。

高速液体クロマトグラフィーによる動物生薬の構成成分の測定法  
-山崎 一矢-

生薬: 阿膠、地龍  
成分: \_\_\_\_\_  
処方: \_\_\_\_\_

雑誌名: 生薬学雑誌 48巻 1994年 1号 53頁 通算 頁

報告: 実験 標的器官: \_\_\_\_\_  
剤形: \_\_\_\_\_ 投与経路: \_\_\_\_\_ 投与量: \_\_\_\_\_

併用薬: \_\_\_\_\_

内容: ①地龍は、コレステロール、シトシン、ウラシル、ヒポキサン、中でもヒポキサンチンが多く含まれていた②阿膠では核酸塩基類が若干認められたのみであった

猪苓湯の実験的慢性腎不全に及ぼす影響について  
-原中 瑠璃子-

生薬:   
成分:   
処方: 猪苓湯

雑誌名: WAKAN-YAKU  巻 1983年 16号 183頁 通算  頁

報告: 実験 標的器官: 肝・胆・腎   
剤形: エキス剤 投与経路: 動物経口  投与量: 0.14g/kg

併用薬:

内容: 猪苓湯を投与した結果①Urea N, Creatinine Clearance の改善②血中Mg, Kの増加及び骨以外の臓器でのMg, Caの増加の改善③Rbの投与成績における有意の変化が認められた。

尿路結石に対する漢方剤の科学的解析に関して  
-小川 由英-

生薬:   
成分:   
処方: 猪苓湯エキス、裏白樫エキス、ヒルビン酸

雑誌名: 漢方医学  9巻 1985年 10号 119頁 通算  頁

報告:  標的器官: 肝・胆・腎   
剤形: エキス剤 投与経路: 動物経口  投与量:

併用薬:

内容: 猪苓湯をシュウ酸マグネシウム結石症に投与した結果①結石形成抑制作用を有する事を認めた。②他の結石形成に関するマグネシウム、カルシウム及びクエン酸の排泄には影響しなかった。③結石形成抑制作用は裏白樫より勝っていた。④開始4週間で尿中シュウ酸濃度が低下した。

利尿剤の作用機序[五苓散、猪苓湯、柴苓湯]第2報: 電解質代謝に及ぼす影響について -渡部 幸恵-

生薬:   
成分:   
処方: 五苓散、猪苓湯、柴苓湯

雑誌名: WAKAN-YAKU  巻 1981年 14号 111頁 通算  頁

報告: 実験 標的器官: 肝・胆・腎   
剤形: エキス剤 投与経路: 動物経口  投与量:

併用薬: Thiazide, Furosemide, Acetazolamide, Prednisolone, Deslanoside 薬末

内容: 漢方利尿剤と西洋利尿剤の電解質に及ぼす影響を実験結果より比較すると、漢方利尿剤の電解質に対する作用は①西洋利尿剤ほど作用は強くない事②Naの腎臓への再吸収を抑制する事③猪苓湯の利尿作用に強心配糖体作用がある事などが示唆された。

利尿剤の作用機序[五苓散、猪苓湯、柴苓湯]第1報: 成長、水分代謝、利尿効果、腎機能に及ぼす影響について -原中 瑠璃子-

生薬:   
成分:   
処方: 五苓散、猪苓湯、柴苓湯

雑誌名: WAKAN-YAKU  巻 1981年 14号 105頁 通算  頁

報告: 実験 標的器官: 肝・胆・腎   
剤形: エキス剤 投与経路: 動物経口  投与量: 1.25kg

併用薬: Acetazolamide/Furosemide, Prednisolone, Deslanoside, Digitalis

内容: ①体重増加曲線において漢方薬投与群の方が良好な発育を示した。②24時間尿量、Na, K排泄量も漢方薬投与群では西洋薬投与群と同等な増加を示し尿量では特に猪苓湯が安定し、漢方薬の方がK排泄量が少なかった。③漢方薬投与群では腎機能検査正常及び腎血流量増加が推定された。

猪苓湯の薬理学的研究(1)ラットにおける利尿作用について  
- 油田 正樹 -

生薬: 猪苓、滑石、茯苓、沢瀉、阿膠  
成分:  
処方: 猪苓湯

雑誌名: 泌尿紀要 27巻 1981年 6号 377頁 通算 頁

報告: 実験 標的器官: 泌尿器・生殖器・肛門  
剤形: エキス剤 投与経路: 動物経口 投与量: 100.00g/2,5ml

併用薬:

内容: ①猪苓湯はエキスでも煎剤でもほぼ同様の利尿作用を示した②猪苓湯の構成生薬(猪苓、沢瀉、滑石、茯苓、阿膠)のうち本実験方法で利尿作用のみられたものは阿膠だけであった

漢方方剤の抗腫瘍効果と細網内皮活性に及ぼす影響  
- 志村 圭志郎 -

生薬:  
成分:  
処方: 人參湯、小柴胡湯、補中益氣湯、十全大補湯、猪苓湯「人參不含」

雑誌名: 漢方医学 8巻 1984年 5号 14頁 通算 頁

報告: 実験 標的器官: 内分泌・代謝系  
剤形: エキス剤 投与経路: 動物非経口 投与量: 300.00mg/kg

併用薬:

内容: ①何れのエキスでも300mg/kg、10日間1.p投与群でBACに対して生存日数の延命が認められた。②これらの方剤エキス投与群で網内皮系の活性が有意に増加した。③小柴胡湯、人參湯では胸腺および脾臓の摘出臓器重量体重量比が増加した。

利尿剤の作用機序(五苓散、猪苓湯、柴苓湯)第1報: 整腸、水分代謝、利尿効果、腎機能に及ぼす影響について - 原中 瑠璃子 -

生薬:  
成分:  
処方: 五苓散、猪苓湯、柴苓湯

雑誌名: WAKAN-YAKU 14巻 1981年 号 105頁 通算 頁

報告: 実験 標的器官: 泌尿器・生殖器・肛門  
剤形: エキス剤 投与経路: 動物経口 投与量: 1.25g/kg

併用薬:

内容: 漢方薬投与群は西洋薬投与群と比較して①発育が良好②24時間尿量は劣らない③同様の24時間尿量排泄量の増加が認められた(K喪失傾向が少なくない)④漢方薬投与群で腎機能検査異常、腎の組織学的所見で腎血流量増加が推定された

利尿剤の作用機序(五苓散、猪苓湯、柴苓湯)第1報: 成長、水分代謝、利尿効果、腎機能に及ぼす影響について - 原中 瑠璃子 -

生薬:  
成分:  
処方: 五苓散、猪苓湯、柴苓湯

雑誌名: WAKAN-YAKU 14巻 1981年 号 105頁 通算 頁

報告: 実験 標的器官: 肝・胆・腎  
剤形: エキス剤 投与経路: 動物経口 投与量: 1.25g/kg

併用薬: Acetazolamide, Flosemide, Prednisolone, Deslanoside, Digitalis

内容: ①漢方薬投与により尿量の増加が特に猪苓湯において認められ、Na<sup>+</sup>排泄量においてもK喪失傾向が少なかった。②各臓器の水分含有量はDigitalis葉末群で低下が認められた。③漢方薬投与群で腎機能検査正常、腎の組織学的所見で腎血流量低下が推定された。

高脂血症の漢方療法—糖尿病・肥満を伴う高脂血症について (25)  
-堀川 龍晃-

生薬: \_\_\_\_\_  
成分: \_\_\_\_\_  
処方: 猪苓湯、補中益気湯

雑誌名: 現代医療学 \_\_\_\_\_ 4巻 1988年 \_\_\_\_\_ 3号 102頁 通算 \_\_\_\_\_ 頁

報告: 実験 標的器官: 内分泌・代謝系 \_\_\_\_\_  
剤形: エキス剤 投与経路: 動物経口 \_\_\_\_\_ 投与量: \_\_\_\_\_

併用薬: \_\_\_\_\_

内容: Ⅰ) 高脂血症を合併する糖尿病と漢方治療: コレステロール負荷ラットを用いた実験において①猪苓湯がTC, TGの低下、HDL-Cの上昇作用を示した②補中益気湯はTC, TGの低下、HDL-Cの上昇作用を示した参照; 漢方医学10(6)22. 1986

老人の泌尿科領域における漢方治療  
-石橋 晃-

生薬: \_\_\_\_\_  
成分: \_\_\_\_\_  
処方: 八味地黄丸、牛車腎気丸、猪苓湯、竜胆瀉肝湯

雑誌名: 現代東洋医学 \_\_\_\_\_ 12巻 1991年 \_\_\_\_\_ 2号 24頁 通算 \_\_\_\_\_ 頁

報告: 治験例 標的器官: 泌尿器・生殖器・肛門 \_\_\_\_\_  
剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 \_\_\_\_\_ 投与量: \_\_\_\_\_

併用薬: \_\_\_\_\_

内容: ①前立腺肥大症: 上記漢方剤の有効性が報告された②尿路不定愁訴: 上記漢方剤の有効性が報告された③前立腺癌

「返品」副作用情報 18

生薬: \_\_\_\_\_  
成分: \_\_\_\_\_  
処方: 猪苓湯

雑誌名: 東医研データ \_\_\_\_\_ 巻 1989年 \*\*\*号 \*\*\*頁 通算 \_\_\_\_\_ 頁

報告: 副作用 標的器官: 臨床一般 \_\_\_\_\_  
剤形: 煎剤 投与経路: ヒト経口 \_\_\_\_\_ 投与量: \_\_\_\_\_

併用薬: \_\_\_\_\_

内容: 身体痛、血尿[s11.7.9、女]; 血尿が続く為、桂姜棗草黄辛附湯 (附子1.5) にしたところ症状が安定した。(矢数)

実験的高脂血症における各種漢方剤の効果と応用  
-山本 昌弘-

生薬: \_\_\_\_\_  
成分: \_\_\_\_\_  
処方: 大柴胡湯、三黄瀉心湯、猪苓湯、防風通聖散

雑誌名: 和漢医薬学会誌 \_\_\_\_\_ 3巻 1986年 \_\_\_\_\_ 3号 340頁 通算 \_\_\_\_\_ 頁

報告: 実験 標的器官: 血液 \_\_\_\_\_  
剤形: エキス剤 投与経路: 動物経口 \_\_\_\_\_ 投与量: \_\_\_\_\_

併用薬: \_\_\_\_\_

内容: リポ蛋白に対する影響に関して比較すると大柴胡湯が特に優れており、LDL-コレステロール、VLDL-コレステロールを低下させ動脈硬化指数を改善させた。

尿道症候群に対するツムラ猪苓湯とツムラ猪苓湯合四物湯の効果  
菅谷 公男

生薬：  
成分：  
処方：猪苓湯、四物湯

雑誌名：泌尿紀要 卷 1992年 38号 731頁 通算 頁

報告：治験例 標的器官：泌尿器・生殖器・肛門  
剤形：エキス剤 投与経路：ヒト経口 投与量： 7.50g/day

併用薬：

内容：①尿道症候群患者71例（猪苓湯投与34例、猪苓湯合四物湯投与37例）期間：4週間②結果及び考察：1)猪苓湯-中等度改善以上が78%、又副作用は2例で胃部不快であった。2)猪苓湯合四物湯-中等度改善以上が44%、又副作用は4例で胃部不快感、下痢、食欲低下などであった。

尿路結石における猪苓湯の使用経験  
田宮 三郎

生薬：  
成分：  
処方：猪苓湯

雑誌名：漢方診療 7巻 1988年 1号 35頁 通算 頁

報告：治験例 標的器官：肝・胆・腎  
剤形：エキス剤 投与経路：ヒト経口 投与量：

併用薬：

内容：①対象：尿路結石35例 期間：1ヶ月②結果：1)約80%に自然排石を認められた2)特に上部尿管の中小結石では、高い排石率と排石日数の短縮が認められた③副作用：全例認められなかった

症候群と漢方製剤(18)-排尿異常を改善する生薬-  
谿 忠人

生薬：竜胆、車前子、猪苓  
成分：  
処方：猪苓湯、八味地黄丸、竜胆瀉肝、清心蓮子飲、五苓散、他

雑誌名：薬局 40巻 1989年 11号 97頁 通算 頁

報告： 標的器官：泌尿器・生殖器・肛門  
剤形： 投与経路： 投与量：

併用薬：

内容：①排尿異常②排尿異常に用いられる生薬と処方 1)排尿異常に用いられる漢方処方の症候と体力 2)竜胆の規格と薬理と薬能 3)車前子の規格と薬理と薬能 4)猪苓の規格と薬理と薬能 5)五苓散と猪苓湯 6)八味地黄丸の投薬目標となる症候と病理③排尿異常における伝統医療の病理

「返品」：副作用情報140

生薬：  
成分：  
処方：猪苓湯合四物湯

雑誌名：東医研データ 巻 1991年 号 頁 通算 頁

報告：副作用 標的器官：  
剤形：煎剤 投与経路：ヒト経口 投与量：

併用薬：

内容：頻尿、頭痛、肩こり[s25.1.21、女]：上記処方後、後背痛、頭痛発現。その後、香砂六君子湯に変更となった。(石野)

神経性頻尿に対する漢方著効例  
-木場 藤一郎-

生薬:   
成分:   
処方: 防己黄耆湯、猪苓湯

雑誌名: 漢方診療  9巻 1990年  1号  47頁 通算  頁

報告: 治験例 標的器官: 泌尿器・生殖器・肛門  
剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 投与量: 7.50g/day

併用薬:

内容: 症例報告: 神経性頻尿[58歳、女]証に随い防己黄耆湯を、症状により猪苓湯を選択し合方した結果、著効を得た。

猪苓湯の尿管結石排泄に及ぼす効果の検討  
-伊藤 秀明-

生薬:   
成分:   
処方: 猪苓湯、芍薬甘草湯

雑誌名: 泌尿紀要  27巻 1981年  7号  801頁 通算  頁

報告: 治験例 標的器官: 泌尿器・生殖器・肛門  
剤形: エキス剤 投与経路: ヒト経口 投与量:

併用薬:

内容: ①尿路結石症の保存的療法には水分摂取と運動及び薬物療法が行われている②猪苓湯の自然排石効果はウロカルン、コスパン、コリオパンなどと同程度である事が報告された③芍薬甘草湯と猪苓湯の併用により上部尿管の中程度の結石の排出を促進される事も明らかにされた

Efficacy of Japanese-Oriental(Kampoh)Medicine applied to elderly patients with asymptomatic bacteriuria -Hiroyuki NINOMIYA-

生薬:   
成分:   
処方: 清心蓮子飲、竜胆瀉肝湯、猪苓湯合四物湯

雑誌名: 和漢医薬学会誌  9巻 1992年  3号  頁 通算  214頁

報告: 治験例 標的器官: 泌尿器・生殖器・肛門  
剤形: 煎剤 投与経路: ヒト経口 投与量:

併用薬:

内容: ①対象: 高齢者の無症候性細菌尿患者24例 期間: 28日間②結果: 1)尿中分泌型IgAの上昇を認めた。2)高齢者のQOLの向上に対する有用性が明らかになった

尿路疾患用薬-漢方処方における薬効群(15)  
-原田 正敏-

生薬:   
成分:   
処方: 猪苓湯、清心蓮子飲、八味地黄丸、他

雑誌名: 現代東洋医学  1巻 1992年  2号  119頁 通算  頁

報告: 治験例 標的器官: 泌尿器・生殖器・肛門  
剤形: 煎剤 投与経路: ヒト経口 投与量:

併用薬:

内容: ①本薬効群を構成する現代的医薬品②所属する処方と効能、効果③本薬効群の特徴 1)配合生薬: 出現率-当帰40%茯苓70%黄 40%滑石30%山梔子30%地黄50%車前子30%沢瀉60%木通20% 2)処方と効能、効果④処方解説1)猪苓湯(合四物湯)2)五淋散3)清心蓮子飲4)八味地黄丸、他

難治性多発性筋炎患者への漢方治療（六味丸、猪苓湯）による一改善例について  
-片桐 敏郎-

生薬：  
成分：  
処方：六味丸、猪苓湯

雑誌名：日本東洋医学雑誌 45巻 1995年 4号 153頁 通算 頁

報告：治験例 標的器官：感染・免疫系  
剤形：エキス剤 投与経路：ヒト経口 投与量： 7.50g/day

併用薬：プレドニソロン

内容：症例報告：多発性筋炎[42歳、男]高cpkを認める症例に対し、六味丸を投与した結果、全身倦怠感、筋筋力低下等は改善した。しかし、下肢浮腫が持続した為猪苓湯に変更した所、浮腫改善、cpk値の正常化が認められた。

体外衝撃波結石破碎術（ESWL）治療後における猪苓湯の使用経験  
-畑 昌宏-

生薬：  
成分：  
処方：猪苓湯

雑誌名：漢方医学 17巻 1993年 6号 24頁 通算 頁

報告：治験例 標的器官：泌尿器・生殖器・肛門  
剤形：エキス剤 投与経路：ヒト経口 投与量： 7.50g/day

併用薬：抗生剤

内容：①対象：ESWL109例②結果：1)3ヶ月後の完全排石率は72.5%であった2)血尿が改善したものは78.6%であった3)膿尿が改善したものは80%であった③副作用：認められなかった

尿路結石症の漢方治療  
-木下 博之-

生薬：  
成分：  
処方：猪苓湯

雑誌名：現代東洋医学 15巻 1994年 1号 11頁 通算 頁

報告：治験例 標的器官：泌尿器・生殖器・肛門  
剤形：エキス剤 投与経路：ヒト経口 投与量：

併用薬：

内容：①尿路結石に対する漢方療法②疼痛除去③自然排石の促進④ESWL後の排石促進⑤結石の溶解及び再発予防

尿路結石における猪苓湯の効果  
-鈴木 明-

生薬：  
成分：  
処方：猪苓湯

雑誌名：日本東洋医学雑誌 45巻 1995年 4号 131頁 通算 頁

報告：治験例 標的器官：泌尿器・生殖器・肛門  
剤形：エキス剤 投与経路：ヒト経口 投与量： 7.50g/day

併用薬：

内容：①対象：尿路結石52例②結果：投与4週間で50%の結石排石率を認めた③副作用：認められなかった

猪苓湯と防己黄耆湯によるゲンタマイシン腎症ラットへの効果  
許 慶友

生薬:

成分:

処方: 猪苓湯、防己黄耆湯

雑誌名: 漢方医学  17巻 1993年 7号 17頁 通算  頁

報告: 実験 標的器官: 肝・胆・腎

剤形: エキス剤 投与経路: 動物経口 投与量: 1000.00mg/kg

併用薬:

内容: ①防己黄耆湯と猪苓湯を各々単独投与し、尿中NAGや腎機能をコントロール群と比べた結果、有意な改善が認められた②GM毒性に対する猪苓湯の改善効果が今回の検討によって明らかにされた